

第5回環境モニタリング委員会 議事要旨

開催年月日/会場	議事	出席委員（敬称略）	項目	議事要旨
令和8年2月27日 Web会議（Teams）・	①第4回委員会の指摘事項と対応 ②令和7年度モニタリングの実施状況 ③令和8年度モニタリング計画（案）	阿部 學（元新潟大学農学部教授、 日本猛禽類研究機構理事長） 池本 良子（金沢大学名誉教授） 稲村 修（元魚津水族館館長） 中田 政司（富山県中央植物園園長） 中村 浩二（金沢大学名誉教授） 南部 久男（元富山市科学博物館館長）	第4回委員会の 指摘事項と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘なし
			令和7年度モニ タリングの実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期水質調査（環境保全措置の効果把握）については、出水時調査でないため、記載内容について、再度検討した方がよい。
			<ul style="list-style-type: none"> ・出水時調査の環境保全措置の効果把握について、調査目的に沈砂池の効果とあるが、他の環境保全措置の効果も含まれるため、記載を工夫した方がよい。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・沈砂池設計時の計算内容を確認したい。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・重要種の見直しの際に対象としたランクは、富山県のレッドデータブックとやま2025の掲載種全てということでしょうか。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・過年度の生物調査における魚類の出現状況を提供いただきたい。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・コウモリの生息を確認した箇所は、ダム完成後無くなるのか教えていただきたい。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・マシジミの確認箇所及び移設先のpHは一般的な生息環境に比べて高く、珍しいため、次年度調査では周辺状況も含めて確認してほしい。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・マシジミは在来種でしょうか。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・ドブシジミ、クビボソコガシラミズムシは周辺にも生息地が点在していると思うので、広く調査してみた方がよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後は移殖先の環境保全のため、関係者間で情報共有した方がよい。 				
令和8年度モニ タリング計画 （案）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回整理した、これまでの調査での確認種及び重要種の一覧を公表してはどうか。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況とダム建設後の比較を考えると、影響が考えられる水域での環境DNA調査の実施を計画していただきたい。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・コウモリ類の環境保全措置として、代替地として人工物をつくることも想定しているか、教えていただきたい。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・コウモリ類の生息確認箇所が人工物であることを踏まえると、環境保全措置として、人為的な場所から人為的な場所へ移すことの妥当性に疑問がある。環境保全措置の検討にあたっては、経済的な観点も踏まえて検討するとよい。 				